

第3回 タンカーのダブルハル化促進に関する検討会

1. 日時 平成16年7月2日(金) 14時～15時
2. 場所 国土交通省 第1会議室
3. 出席委員 石田座長、多部田委員、岡村委員、畠山委員、菊間委員、高橋委員、斎藤委員、辻委員、松井委員
4. 事務局 安全基準課
5. 議事 (1) 前回議事録の確認
(2) タンカーのダブルハル化に関する我が国の取り扱い方針に関する検討
(3) その他
6. 議事経過
前回議事録の確認後、事務局より資料に基づいて、タンカーのダブルハル化の時期に関する方針について説明を行った後、委員による議論を行った。

< 主な議事の概要 >

事務局より、タンカーのダブルハル化の時期に関する方針について、資料3-1に基づき説明を行った。

内航タンカーに関しては、事務局が作成した方針案で問題ない旨確認された。なお、ダブルボトム又はダブルサイド構造の現存船は全て船齢25歳までの運航を認めうる事が確認された。

外航の現存シングルハルタンカーのフェーズアウトの時期に関しては、V L C Cの需給分析を行った上更に検討することとなった。これに関連し、船主協会から国土交通省あて提出された要望(資料3-3)の紹介があった。

重質原油の輸送を行う載貨重量5000トン以上のタンカーのダブルハル化に関し、我が国の原油輸送に与える影響を更に検討の上結論を出すこととされた。

石油連盟が実施中のタンカーのダブルハル化が棧橋に与える影響に関する調査(資料3-2)について、近々結果がまとまるとの説明があった。

次回会合の時期は後日決定することとされた。